

## 競技・審判上の確認事項

### 【競技上の確認事項】

- 1 本大会は、2024年度公益財団法人日本バレーボール協会の6人制競技規則にある小学生バレーボール競技規則に基づいて行う。
- 2 競技方法は、男子は16チーム、女子は32チーム、混合16チームが8チームのブロックに分かれてトーナメント戦を行う。1回戦で敗退したチームは敗者戦を行う。
- 3 大会使用球は、男子・混合がミカサ、女子がモルテンとする。
- 4 試合はすべて3セットマッチ、追い込み方式で行う。試合が連続する場合は最大15分間を空ける。前の試合が終わっても、競技役員の指示があるまでは、コートを使つての練習はできない。
- 5 チーム編成は、監督・コーチ・マネージャー各1名と選手14名以内とする。ベンチスタッフは、登録されたもののみ着席を認める。
- 6 ベンチスタッフのエントリー変更届、並びにコンポジションシートは、11月16日（土）、17日（日）の受付時に提出すること。
- 7 監督・コーチ・マネージャー章は必ず左胸につけること。なお、ベンチスタッフの内1人以上の者は、（公財）日本スポーツ協会が認定するバレーボールの「コート1、コーチ2、コーチ3、コーチ4」の有資格者とする。なお資格証は試合時に首から下げていなければならない。
- 8 ベンチスタッフの服装は統一されたものを着用する。小学生がベンチスタッフに入る場合は他のスタッフの服装と異なってもよい。
- 9 ベンチには競技に必要な飲料水を持ち込むときは、スクイズボトル等口を直接つけるタイプの水筒を使用すること。ペットボトルの持ち込みは不可とする。競技に必要な救急用具以外の品物は持ち込まない。
- 10 横断幕（一枚：天地70cm×幅5mまで）は、試合をしているチームのみの掲示を認める。のぼりは観戦の邪魔にならないように観客席最後列に掲げること。但し、ガムテープなどの粘着テープは使用できない。必ず、ひも・マジックテープ等を使用すること。
- 11 応援は、試合（審判の吹笛等）の妨げにならない範囲で行うこと。鳴り物による応援は、太鼓、笛、大メガホンなど試合に多大な影響を及ぼすものは禁止する。隣のコートや、周りの人たちに邪魔にならないような応援を心がけること。また、メガホンの使用は認めるが、物をたたく等鳴り物としての使用はしないこと。
- 12 試合終了後、両チームは速やかにベンチをあけること。次の試合の両チームは、コートチェック終了後、競技委員の指示があるまではコートに入ることはできない。
- 13 両体育館とも応援は、原則としてギャラリーからすること。ただし、結城市かなくぼ運動公園体育館のDコート、筑西市下館総合体育館のHコートは、フロアのみでの応援とする。その際、競技委員の指示に従うこと。

## 【審判上の確認事項】

### 1. トスについて

- ① トスはスコアラートテーブルの前で試合開始 11 分前に行う。
- ② トスにはチームキャプテンが立ち合い、キャプテンマークが付いたユニフォームを着用すること。

### 2. 公式練習は試合開始 11 分前より、両チーム合同で行う場合は 6 分間とし、単独で行う場合は 3 分間とする。

### 3. 第 1 セットおよび第 2 セットでは、リードするチームが 11 点目に達したとき、第 3 セットでは、リードするチームが 8 点に達したとき、30 秒間のテクニカルタイムアウトが自動的に適用される。

テクニカルタイムアウトの間、選手はベンチ端の飲料水が置いてある場所で給水を行うこと。ベンチスタッフが選手に話しかける場合、給水場所にスタッフが移動し話しかけること。

### 4. 片方の足（両足）または片方の手（両手）がセンターラインを越えて相手コートへ触れても侵入している片方の足（両足）または片方の手（両手）の一部が、センターラインに接しているか真上に残っていれば許される。

### 5. 同一チームによる、2, 3 回目のボールへの接触は 1 回目の接触と同じように、一連の動作中であれば、ダブルコンタクトの反則にはならない。

### 6. 選手が負傷して例外的な選手交代をした場合、負傷した選手はその試合に復帰することはできない。

### 7. 監督はラリー中、ベンチに座っていなければならない。

### 8. ベンチスタッフは統一された服装でなければならない。また、ベンチスタッフのうち 1 名は指導者証を身につけること。

### 9. サービス順は間違いのないよう、ベンチスタッフも十分注意すること。